

## 復旧・復興のための常磐自動車道の早期開通について

様

震災と津波、それに続く原発事故により浪江町は全町避難を余儀なくされており、当地域の復旧・復興のためには、浪江町への安全な交通路の確保が重要な課題となっております。

浜通り地区の最も重要な基幹交通である国道6号とJR常磐線は、東京電力福島第一原発の近距離(5km以内)を通過するため早期開通に大きな困難があります。一方、常磐自動車道については、現在工事中の延伸工事区間(富岡から相馬)が、福島第一原発から6km以上離れており、東京大学アイソトープ総合センターの2ヶ月におよぶ現地調査により、適切な除染と遮蔽を行えば、比較的早期に、安全に開通できることがわかりました。

住民の復興への第一歩は、安全なアクセスの確保です。常磐自動車道は延伸工事の橋脚などの基礎部分は完成し、開通に向け最終段階にあります。汚染された盛り土を取り除き、適切に保管し、遮蔽を行い、切り土部分を除染することにより、道路の放射線量を大幅に下げ、通行者の安全を確保できます。

工事にあたりましては、徹底的な放射線測定を基礎に、作業者の安全確保計画を専門企業に委託作成させ、それをもとに安全な工事基本計画をたて、検討の上、地元企業の参加もえて行う事が重要です。さらに、通常の自動車道でなく、復興道路として自治体ごとに開口部をもうけ、入り口での車両の放射線量測定と除染を行う事、500mごとに余震時の避難場所をおくことが求められます。

以上のような安全に配慮した工事計画のもと、事情をご賢察の上、地域復興の要として常磐自動車道の早期開通のためのご支援いただけますよう心からお願い申し上げます。

平成23年11月11日

福島県浪江町長 馬場 有